



清須市緑の基本計画  
2026 ▶ 2034

清須市の緑のまちづくり

[ 清須市緑の基本計画 2026 ~ 2034 ]



清須市建設部都市計画課 2026 年 3 月発行  
問合せ：052-400-2911（代表）

「清須市の緑のまちづくり」について、もっと知りたい人は…  
<https://www.city.kiyosu.aichi.jp/XXXXXXXXXXXXXXXXXX/index.html>

QRコード

# 「緑」ってなんだろう？

## 緑が大切な理由

➡ 緑は、わたしたちの暮らしにとっても役立っています。

### 地球の命をまもる

[環境保全機能]



### 住みやすいまちをつくる

[レクリエーション機能]



### まちの安全をまもる

[防災機能]



### 美しいまちをつくる

[景観形成機能]



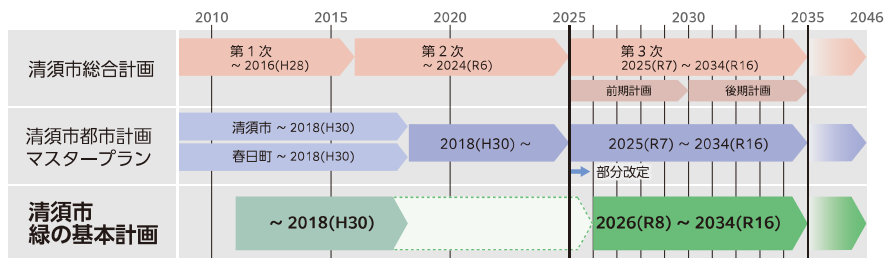
## 「緑の基本計画」とは…

➡ まちの緑をまもったり、増やしたりするために立てる計画です。

「緑の基本計画」とは、都市緑地法 第4条の規定に基づいて市町村が作る計画で、緑地の保全や緑化の推進を、総合的かつ計画的に行うことを目的とした計画です。

➡ 清須市では、2034年を目標として計画を立てました。

清須市では、清須市総合計画、清須市都市計画マスタープランと合わせて、2034(令和16)年を目標年次として、新しい計画を立てました。



▲ 2009年 清須市・春日町合併

## 緑の種類

➡ 緑は、わたしたちの身近にあります。

### 公園の緑



□ ネギヤ公園

### 農地の緑



□ 農地(生産緑地)

### 川の緑



□ 五条川



□ あいち朝日遺跡ミュージアム



□ 農地(生産緑地)



□ 庄内川西枇杷島緑地

### 学校の緑



作成中

□ XXXXXXXXX

### 神社やお寺の緑



□ 日吉神社



作成中

□ XXXXXXXXX



□ 八剱社

あなたが知っている場所、行ったことのある場所はありますか？  
□に✓チェックしてみよう。



# 清須市の緑のまちづくりとは？

## 緑をまもり、増やすために

➡ 清須市の緑をまもり、増やしていくためには、いくつかの課題があります。

**川の緑を大切にする** …………… 清須市の緑のネットワークである庄内川、新川、五条川の貴重な緑資源を、生物多様性に配慮しながら保全・整備していく必要があります。

**公園や緑地をもっと利用する** …………… 市民の多様な健康・レクリエーション・交流活動の場、自然とふれあえる場として、緑地を整備し、緑の環境づくりを進めていく必要があります。

**災害から人々をまもる緑を育てる** …… 緑のオープンスペースなど、『グリーンインフラ』を持つ防災・減災機能を活用し、防災対策を進めていく必要があります。

**いまある緑を次世代へつなぐ** …………… 公園や緑地の老朽化対策や維持管理・更新を進め、市民との協働や民間活力の導入などにより、持続可能な緑のまちづくりを進める必要があります。

### ポイント

清須市は、愛知県西部における「水と緑のネットワーク」の一部です。

清須市は、愛知県西部の水と緑のネットワークをつなぐ一角を担っています。とくに庄内川は「県土の骨格を形成する緑地」、庄内川・新川・五条川は、『愛知県広域緑地計画』において「水と緑のネットワークを形成する緑地」と位置付けられており、重要な緑地として保全・活用が求められています。



## どんなまちづくりをめざすのか

➡ 清須市のめざすまちづくりを と決めました。

### 「人と自然をつむぎ“緑はぐくむ”まちづくり」

➡ めざすまちづくりを進めるために、3つの方針を立てました。

#### 1 いのち はぐくむ みどりをつくる

3つの河川を含む豊かな水と緑がもつ多様な機能を有するグリーンインフラを活用し、人と自然が共生し、環境への負荷が小さく、自然災害にも強い緑のまちをつくります。

#### 2 くらし はぐくむ みどりをつくる

清洲城や朝日遺跡などの歴史に支えられた緑を大切にし、誰もが快適に暮らせる、地域全体が魅力にあふれる緑のまちをつくります。

#### 3 こころ はぐくむ みどりをつくる

誰もが健やかに暮らし、子どもたちの成長を地域で見守る環境づくりを通して、誰もが笑顔になれる緑のまちをつくります。

➡ 6つの目標を決めました。

| 目 標                   | 現況値<br>2024年  | 目標値<br>2034年                                 |
|-----------------------|---|--|
| ① 緑豊かなまちだと思える人を増やす    | 35.8 % ➡  | 45 %   |
| ② 緑による防災・減災に満足する人を増やす | 20.2 % ➡  | 35 %   |
| ③ 1人あたりの緑地の面積を増やす     | 都市公園の面積 3.8m <sup>2</sup> /人 ➡<br>都市公園等の面積 8.1m <sup>2</sup> /人 ➡ | 4.6m <sup>2</sup> /人<br>8.8m <sup>2</sup> /人 |
| ④ 緑をまもる活動に満足する人を増やす   | 15.8 % ➡  | 45 %   |
| ⑤ 緑の活動を続けたい人を増やす      | 33.6 % ➡  | 45 %   |
| ⑥ 公園を利用したイベントなどを増やす   | 70件 ➡   | 100件   |

# まちづくりのとりくみは？

## さまざまなとりくみを展開します

➡ 3つの基本方針に基づいた活動を進めていきます。

### いのちをはぐくむ活動

#### 川を軸とした生物環境の保全

庄内川、新川、五条川など多くの生き物の住み家となっている河川を軸として、生物の生息・生育・繁殖環境や、さまざまな河川の風景をまもり、作り出していくため、河川の管理者とも連携し、利用する市民の声を反映した「多自然川づくり」をめざします。



庄内川西枇杷島緑地

#### 自然とふれあえる水辺空間の利用促進

庄内川・新川・五条川の水辺の散策路は、日常的に自然とふれあえる水辺環境として多くの市民に利用されています。

今後も適正な環境整備・維持管理を行い、水辺環境の利用促進を進めます。



五条川

#### 安心して利用できる公園づくり

公園の施設をいつでも安全な状態に保ち、誰でも安心安全に利用できるようにするため、各施設に合わせた改善を行い、利用しやすい公園づくりを進めます。



はるひ夢の森公園

### 心をはぐくむ活動

#### 子どもたちへの緑の環境学習活動

学校内に、ビオトープや水生生物などを観察するための水槽を設置するなど、生物観察のための環境を整備します。

水と緑にふれあう機会を創出し、学校などへの出前講座の実施などを通じて、環境学習を充実します。



環境学習活動の様子

#### 水辺の環境学習活動の推進

水辺の自然や野鳥の観察が行える環境の整備や、河川敷での体験型環境学習などさまざまな活動に取り組みます。

流域内で取り組む活動などを積極的に支援して、将来に向けて河川環境を保全します。



朝市 × 水辺の環境学習活動

#### 緑化活動への参加機会の提供

小中学校への苗の配布、植樹イベントの開催など、子どもたちが植物に接する機会を増やし、緑に対する意識を高めます。

公共空間の管理者や関係者と連携し、さまざまな立場が参加できる活動を支援します。



小学校での植樹の様子

### くらしをはぐくむ活動

#### 清洲城一帯の緑の保全・拡充

清洲城を中心に、公園や広場などが整備され、人々の憩いの場、レクリエーションの場として利用されています。

これらの緑地をまもるとともに、緑地につながる道路や施設の緑を増やし、緑豊かな環境をつくります。



清洲城遊歩道

#### 公共施設の緑化推進

校舎のまわりのスペースなどを活かして、花壇を設置したり、四季折々の花を育てたりして、花への愛着を高めています。

緑のカーテンなど壁面を緑化するなど、公共施設の緑化を進めることで、緑が持つ機能をアピールします。



清洲中学校の花壇

#### 民有地の緑化の推進と緑の空間の創出

工場などの敷地内にある緑地の一般開放を進め、地域のイベント時などに活用します。

民間事業者に積極的に働きかけることで、民間主体による自発的な緑地の保全・整備の推進を図ります。



企業緑地（明電舎）

### ポイント

市民・事業者・行政が「協働」して進めることが大切です。

緑をとりまく人々の価値観やニーズは、時代とともに変化に富んだものになっています。こうした中で、めざすまちづくりの実現のためには、市民・事業者・行政といったさまざまな人たちが参加し、お互いの特徴を活かしながら対等な立場で協力していくことが重要です。

こうした関係を「協働」と言います。

#### ●「協働」による活動例：アダプト・プログラム

アダプト・プログラムとは、地域住民や企業が道路や公園などの公共空間を「養子」に見立て、「里親」として継続的に維持管理する活動で、行政が支援する「市民と行政の協働によるまちづくり」の仕組みです。



アダプトの活動「青空の会」

# あなたの「緑のまちづくり」



## 考えてみよう 調べてみよう 動いてみよう

➡ この冊子をもういちど読んで、考えてみてください。

**Q1** あなたの身近にある「緑」は、どんな役割を果たしていますか？

あてはまるものに✓をつけて、理由を書いてみよう。

生きものの命をまもる

住みやすいまちをつくる

まちの安全をまもる

美しいまちをつくる

**Q2** もしも、あなたの身近な緑がなくなったら、あなたの暮らしはどう変わるとおもいますか？

良くなると思うこと／こまると思うことを考えてみよう。

○ 良くなること：

× こまること：

**Q3** 清須市の「緑の基本計画」は、どんなまちづくりを目指しているとおもいますか？

大切だと思った言葉を3つ選んで、そう思った理由を書こう。

(1)

(2)

(3)

➡ まわりの人やインターネットを使って、調べてみてください。

**Q4** いまある緑をまもるだけでなく、これまでより緑が豊かなまちにするために、どんなことができるでしょうか？

**Q5** 暑さや寒さ、災害などから暮らしをまもるために緑を活かすとしたら、どんなことが考えられますか？

➡ Q4 や Q5 のような考え方には、専門的に使われている名前があります。気になる人は、調べてみましょう。

➡ あなたにできることをしてみましょう。

**Q6** 清須市の緑のまちづくりのために、あなたが今日からできそうなことは何でしょうか？

公園に行ってみる／家の人と話す／植物を育てる など、できることを考えてみよう。